

## (5) 南信州地域の取組

### ～豊かさあふれる南信州農業！ 農から始まる新しい交流文化～

#### 【めざす将来の姿】

##### I 次代へつなぐ南信州農業

○農家後継者、U I ターン就農者や定年帰農者など多様な担い手により、県内有数の果樹産地が安定して維持されるとともに、多品目の野菜や花き、牛肉や豚肉等の畜産ブランド、伝統野菜など特徴ある農畜産物も安定して生産され、南信州の特性を活かした消費者志向に適應する総合産地が形成されています。

##### II 消費者とつながる南信州の食

○リニア新時代の交流・流入人口の増加を見据え、新たな地域特産品開発や6次産業化が進展し、南信州らしい「観光+農業」が一層盛んとなるとともに、食育の推進等により、地元食材が再評価され地消地産が更に定着しています。

##### III 人と人がつながる南信州の農村

○農業水利施設の計画的改修や荒廃農地対策、野生鳥獣対策等により、秩序ある農地利用と魅力的な農村景観が維持され、移住定住者、交流者を交えた新たな農村コミュニティの形成や地域資源・環境を活かした農業関連ビジネスが發展しています。

#### 重点取組ごとの取組事項

#### 重点取組 1：南信州農業の次代を担う人材の確保・育成

##### 【達成指標】

項目	2016年度(現状)	2018年度(計画)	2022年度(目標)
45歳未満の新規就農者数(単年度)	28人	28人	28人
I ターン就農者数(単年度)	5人	5人	5人

##### ○県、市町村、J A と連携し相談活動や研修事業等の充実による担い手確保の強化

- ・就農作戦会議の開催と就農事例集・経営事例集等の活用、受入体制の充実検討などにより市町村が主体となった新規就農者の確保・育成を積極的に推進
- ・機関連携した就農相談
- ・就農計画の実現に向けた課題解決を支援

##### ○各種セミナー、研修会による新規就農者や中核的経営体の資質向上

- ・認定農業者等中核的経営体の育成・確保及び経営力向上に向けたセミナー開催(1回)と経営体支援施策を活用した経営発展を支援
- ・就農間もない青年就農者のスキルアップを目的とした講座(4回)、など、対象の実情と課題に即した継続的な研修会を開設し、幅広い担い手を育成

##### ○県農業大学校研修事業の南信州での実施や帰農塾等によるU I ターン含む定年帰農者への支援の充実

- ・定年帰農者などの中高年代層を対象とした「帰農塾」(6コース)のほか、新たに「農ある暮らし研修」を実施し、多様な担い手育成を支援

## 重点取組 2 : 新技術や新品種拡大による競争力の強い果樹産地づくり

### 【達成指標】

項目	2016年度(現状)	2018年度(計画)	2022年度(目標)
柿の栽培面積	517ha	522ha	542ha
ぶどう無核大粒品種の栽培面積	21.8ha	22.5ha	25ha

#### ○シナノリップなどリンゴの新品種を含めた県オリジナル品種の戦略的拡大

- ・りんごオリジナル品種の適期収穫による品質確保、早生種（シナリップ）の品種検討会

#### ○市田柿の生産拡大と「市田柿+α」複合経営の推進

- ・荒廃農地の再生や改植等事業の活用推進や農地中間管理機構と連携した農地流動化により植栽を推進
- ・適樹勢を維持するための整枝・剪定、適正施肥や摘果など樹体管理技術の周知・徹底
- ・良質な原料柿の生産のための、主要病害虫（円星落葉病、カイガラムシ）の防除を啓発
- ・南信農業試験場やJAと連携した熟度調査の実施と情報提供による適期収穫の徹底

#### ○りんご新しい化栽培やなしのジョイント仕立栽培など省力化と生産性向上の推進

- ・樹体ジョイント仕立て栽培の拡大によるなし園地の若返りの推進のため調査ほ設置と補助事業による導入を促進
- ・JAみなみ信州と連携し、フェザー苗木の安定供給を図るため、M9取り木母株の養成支援(巡回2回)及びフェザー育苗支援

#### ○シャインマスカットやナガノパープル等無核大粒品種の生産拡大によるぶどうの産地化

- ・高品質なシャインマスカット、ナガノパープル生産のための房づくり管理の徹底

## 重点取組 3 : マーケットインの複合産地の構築

### 【達成指標】

項目	2016年度(現状)	2018年度(計画)	2022年度(目標)
きゅうり・アスパラガス施設面積	32ha	33ha	37ha
白ねぎ等新品目栽培面積	23ha	25ha	26ha
信州プレミアム牛肉認定頭数	694頭/年	722頭/年	765頭/年

#### ○きゅうり・アスパラガスの施設化の推進

- ・アスパラガスの施設化推進資料による啓発及び夏秋きゅうりの雨よけ施設導入効果確認と普及

#### ○白ねぎ等新品目の作付け推進

- ・白ねぎの病害虫対策徹底による生産安定と夏採り栽培等の導入による生産拡大
- ・ズッキーニ、オクラなど新品目の生産上の課題把握と解決による導入推進

#### ○ダリア等 200 種類以上の多品目花き生産への支援

- ・ダリアのウイルス、ウイロイド対策の実施による生産性の確保と露地作型拡大による栽培面積と出荷量の拡大

#### ○県内一の茶産地の維持

- ・基礎管理技術の徹底及び高品質茶生産による所得向上

○需要に即したきのこ生産

- ・異物混入防止及び安定生産の支援

○信州プレミアム牛肉・銘柄豚など畜産物の生産拡大

- ・肉牛繁殖農家における繁殖雌牛改良促進と優良子牛生産拡大を支援
- ・「信州あんしん農産物（牛肉）生産認定農場」における衛生管理向上支援
- ・養豚農家における生産性向上推進

○ICT等新技術の導入検討

- ・各種ICTについて情報を収集し、導入について検討を実施

**重点取組4：稼ぐ農業ビジネスに向けた高付加価値化の推進**

**【達成指標】**

項目	2016年度（現状）	2018年度（計画）	2022年度（目標）
伝統野菜認定数	11種類	12種類	13種類
6次産業化総合化事業計画達成件数	1件	2件	4件

○シードルなど新たな地域特産品の開発の推進と消費の拡大

- ・総合化事業計画策定への個別支援、補助事業を活用した施設整備への支援及び認定事業者のフォローアップ

○輸出を志向する取組や認証取得等高付加価値販売を目指す取組への支援

- ・農産物直売所等へのGAP啓発巡回と研修会等の開催によるGAPの普及拡大
- ・市田柿衛生管理研修会、出荷目揃え会の開催等による市田柿の衛生及び品質管理の徹底
- ・環境にやさしい農業の推進

○伝統野菜をはじめとした地元食材の食べ方提案等による消費誘導

- ・伝統野菜の意欲的な生産組織に対する生産振興上の課題及び技術課題の解決支援
- ・新たな需要の掘り起こしによる消費拡大を図るため、GIの取り組み紹介や若者やワイン愛好家に向けた新たな食べ方の提案（PRイベント2回）
- ・伝統野菜の認知度向上に向け、「南信州伝統野菜フェア」等（2回）の開催

○食品産業との連携への支援

- ・実需者の要望に応じた生産拡大や加工品開発の支援及び商談会（2回）等による企業とのマッチングの推進

**重点取組5：食育の推進と交流を通じた地消地産の拡大**

**【達成指標】**

項目	2016年度（現状）	2018年度（計画）	2022年度（目標）
都市農村交流人口	193,755人	200,600人	213,900人
販売金額1億円以上の農産物直売所数	7箇所	7箇所	8箇所

○小学生や未就学児との農業体験会の開催など教育現場との協働による食育の強化

- ・小学生を対象にした市田柿の食育事業（5クラス）の実施及び地域の食文化の継承と作物栽培・加工体験活動等の取り組みを支援

○直売所の品揃え強化・ネットワーク化等による消費誘導

- ・飲食店や農産物加工所の連携による直売所の付加価値づくり支援と、直売所や伝統野菜のパンフレット等を通じた直売所利用の広域化の推進

○市田柿など地域特産品のレシピ開発や料理講座等への支援

- ・市田柿等の地域特産品の食べ方提案等を市町村や事業者等と連携し、レストランや女性団体と検討を実施

○交流人口増加を見据えた地元農畜産物のPRと「観光＋農業」の推進

- ・リニア、三遠南信自動車など地域交通網の変化を見据えたグリーンツーリズムの研究
- ・飲食店や直売所等での地元農産物の活用促進のための情報発信

○地元民俗芸能と食文化、地域食材等を融合させる「食」を介した交流の促進

- ・地元農産物の調理講座、情報交換会等の給食現場と生産者との交流の場の提供（1回）

**重点取組6：農を基軸とした多様で豊かな地域づくり**

**【達成指標】**

項目	2016年度 (現状)	2018年度 (計画)	2022年度 (目標)
計画期間中に整備する重要な農業水利施設の整備箇所数	—	1箇所	6箇所
多面的機能及び中山間直接支払取組面積	2,751ha	2,751ha	2,993ha

○農業体験型研修の充実等による移住・定住者の支援

- ・南信州管内での農ある暮らし研修等により移住・定住を推進

○企業法人等による荒廃農地の活用や農地中間管理事業等の活用による農用地利用の最適化の推進

- ・鳥獣対策事例の情報交換会や捕獲活動指導会を開催し効果的な対策や広域連携を推進
- ・捕獲檻やくくりわなの設置など集落ぐるみ捕獲体制の整備や集落環境整備への支援を行い被害対策自立集落体制の確立を支援
- ・荒廃化した樹園地を中心に農地中間管理事業により流動化を推進し、農地利用の最適化を促進

○農村の多面的機能の維持と小水力など地域資源の活用促進

- ・多面的機能支払交付金を活用し、農業生産活動を維持していくために必要な農地・水路・農道等の保全活動及び補修・補強・更新等の質的向上活動を支援
- ・中山間地域等直接支払制度の事業拡大や新たな加算措置等への取組を推進

○農業用施設の長寿命化及び農村の防災対策の推進

- ・竜西一貫水路及び竜東一貫水路の補修・更新

○食材の移動販売や配食サービスなど中山間地域におけるビジネスモデルの検討

- ・中山間地域における新たな農業ビジネスモデルの検討